

ない患者をどうするかについては、家族としては、職員の介助でも行かせてあげたいとの気持ちがうかがえる。職員は、家族の自覚をうながす為いきびしくする必要のあるとの考えで43%が病棟に残すとしている。

事故責任については、患者、家族共に病院側にあるとした者があり、又依頼して事故が起きた時責任を問うとした者が15%もある事は、今後この点について考えていく必要があると思う。又、家族がついて行くのが最良の対策であるとの家族の意見もあった。

#### <おわりに>

この結果を基にして、今後は、患者、家族の指導を行ない、連絡を密にしてより充実した院外活動にしたい。又、責任問題については今後も、患者、家族、職員が一体となり考えていかなければならない問題であると思われる。

## 10) 当病棟で求められる看護婦像

### 国立療養所再春荘

田 辺 豊 子	竹 田 加 代
吉 安 さよ子	亀 田 日出子
田 代 節 子	田 中 嘉 子

#### <はじめに>

障害が進行し、ほとんどの患児が歩行不能者となり、年令的にも中学生、高校生となった現在種々な問題が出て来ている。この期に今までの看護をふり返り、今後筋ジスはどの様な看護が必要なのかを知るためにこの研究に取りくんだ。

#### <目 的>

患児の看護婦に対する意識調査をすることにより看護という仕事をどの様にとらえ又、どの様な看護婦を求めているかを知る。

#### <研究方法>

対象 中学生16名、中学部卒業生9名、アンケートと面接による意識調査、

#### <結果及び考察>

アンケート回答率60%、特に中学卒業生の回答が少なかった。

- ① 看護婦のイメージ、白衣、キャップ、病院トイレ、清潔、おこる人等。
- ② 看護婦の仕事だと思ふことを書いて下さい。
  1. 身の回りの世話。
  2. 診療の介助。
  3. 相談相手。

4. 病室の清掃。

5. 観察記録。

③ 困ったことがあったら看護婦に相談出来ますかーほとんどの人が相談出来ないとしている。その理由ー

- a 忙がしそうにしているから。
- b 自分の気持ちをうまく表現できないから。
- c 安心して相談できる人がいない。

④ どんな看護婦であってほしいか。

明るい人、やさしい人、おこるべきところはおこる人、ユーモアがあり融通のきく人、きがねしなくていい人、無視しない人。

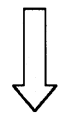
⑤ どんな看護婦がきらいですか。

イライラしている人、やさしすぎる人、きびしすぎる人、話にくい人、介助のし方が荒い人、つんつんした人。

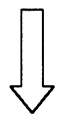
⑥ 自分の気持ちを素直に出せますか。

あまり出せない時が多いと全然出せないというのがほとんどである。その理由ー介助してもらえなくなるから、あとがこわい、いつも同じだから、言っても何もできないくせに、ということがでている。

アンケートは卒業生のほとんどが回答してくれず、他の子も記述式のアンケートでうまく自分の気持ちを書けていないのではないかという疑問もあり、面接を行なった。そこで得られた意見としては、1人の看護婦を見てもその人個人ではなく全体の看護婦に見え相談できない。申し送りや生活記録などにより、1人の人に話してもその他の人に伝わるため信用できない。時には勤務時間を考えず友人として接してほしい。仕事だから仕事だからという人はきらいだという意見や僕たちの頼んだ事だけを介助してくれればいい、よけいなとはやらなくていいという意見もでている。このようにアンケート及び面接、話し合いの結果から、患児達は自分の気持ちをわかってくれる看護婦を求めている反面、頼んだことだけで余計なことはやらなくてもいいなどと言ってみたりしている。これは対象が思春期でもあることから来る言葉とも受け取られ又、病棟の規則の不満も看護婦への不満として出て来て いると思われる。よりよい人間関係を作っていくために、又、患児達の求めに対してどのように看護婦が答えていくかがこれからの課題である。問題になる申し送りや生活記録のあり方を検討し、患児とも話し合いを充分に持ちお互いを理解し、1人1人を人間として尊重した看護を行なっていきたい。



**検索用テキスト** OCR(光学的文字認識)ソフト使用  
論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



<はじめに>

障害が進行し、ほとんどの患児が歩行不能者となり、年令的にも中学生、高校生となった現在種々な問題が出て来ている。この期に今までの看護をふり返り、今後筋ジスはどのような看護が必要なのかを知るためにこの研究に取りくんだ。